

のみ S D G s パートナー活動状況報告書

能美市長 宛て

所在地 能美市灯台笹町 822 番地

企業・団体・個人名 株式会社ヨネモリ

1. 活動内容及び効果

※活動の様子が分かる写真があれば添付する。

(活動内容)

- ・ 期初に SDGs 委員会立ち上げ各部署より委員選出し会社全体で活動機運を盛り上げた。
- ・ フードロス対策も兼ねて社内で食料品募り、フードドライブを通じて、子ども食堂に年 3 回食料提供した。また、女性社員よりひとり親の女性あてに生理用品の寄付も始めた。
- ・ 事務所内だけでなく、工場内での廃棄物分別実施。
- ・ ハローワークを通じて、高齢者 (65 歳以上) 雇用行った。
- ・ 地域防災拠点としたく、太陽光発電設備の充実・防災対策自販機導入した。
- ・ 障害者施設で製造しているお菓子等を顧客・社内イベント用手土産として積極的に購入。

持続可能な地域社会の実現に貢献していきます

持続可能な社会の実現に向けてさまざまな取り組みを進めています。地域社会では寄付やボランティアなどの社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。具体的には能美市辰口地区の清掃事業への参加やフードドライブへの食品の寄付などを行いました。また、社内で SDGs 研修会を開催し、普及啓発や教育機会の提供も行っています。



開、ち、は、や、イ、シ、も、な、び、を、と

と思いました。

**能美のヨネモリ 募った食品寄付**  
 三道山子ども食堂に  
 鋼構造物の施工を手がけるヨネモリ（能美市灯台笹町）は、従業員から集めた食品を三道山子ども食堂（同市三道山町）に寄付した。

同社は、市が持続可能な開発目標（SDGs）に向けたまちづくりで連携する「のみSDGsパートナー」にともに登録している

縁で子ども食堂のことを知り、本社と栃木県の工場の従業員に一週間、家庭で余った食品の提供を呼びかけていた。米やレトルト食品、缶詰、カップ麺などが寄せられた。

総務部の岩淵理絵さんが（西）が十七日に、子ども食堂の活動拠点の三道山公民館を訪れ、西出紀代美副代表（右）に手渡した。岩淵さんは「子どもが困っているのは心苦しい。地域の人に喜んでもらえるよう、役に

立つ活動ができれば」と話した。（平野誠也）

れぞれの思いを込めたオリ

ラジエ  
 5.00  
 6.00  
 8.00  
 9.00  
 17.00  
 1.00  
 55  
 2.00  
 3.00  
 4.54  
 5.00  
 6.00  
 30  
 45  
 55  
 7.00  
 8.55



（効果）

- ・ 部署間のまとまりも出て、コミュニケーションも円滑になった。
- ・ 社会的弱者に対する認識が強まってきた。
- ・ 地域活動への参加意識が強まったし、社内活動も活発化してきている。

2. 今後の活動予定

- ・ 育児休暇の取りやすい環境づくり。
- ・ フードドライブの年間3回以上の実施。
- ・ 地域防災拠点としての認定取得。
- ・ 高齢者就業、多様性に合わせた柔軟な雇用条件への変更。